

校長室だより第 24 号（令和 8 年 9 月 15 日）

昨日は秋晴れ。しかし、今日はまた雨です。

9 月 14 日（月）は久しぶりに太陽を見ることができました。それもほぼ一日中。空も高く青く、まさに秋晴れでした。こんなに『晴れ』が嬉しいなんて。南関東地方でこれだけ日照時間があったのは、8 月 26 日以来、20 日ぶりということでした。なるほど。そりゃあ、嬉しいはずです。合点がいきました。

しかし今日（9 月 15 日）は朝から雨。嫌になってしまいます。この後も天候がおもわしくないようで…。シルバーウィークである 5 連休が良い天気になることを祈ります。

さて、昨日の晴れ間を利用して 1 年生が『なつをかんじよう』の学習を行いました。先週行う予定でしたが、雨が続いたために、この日（9 月 14 日）になったのです。

目 的

- ① 季節と仲良くなり、季節の特徴や違いを見つける。
- ② 遊びを楽しく工夫する。
- ③ 季節を取り入れて、遊びや生活を創り出す。

本時では、特に『水遊び』を通して、夏を感じたり、友達と楽しく遊んだり、個々に工夫して遊びを作ったりすることが目標となりました。

『夏の水は冷たくないね。』

『どっちが遠くまで水を飛ばすことができるか競争しよう。』

『水の掛けっこ楽しいな。』

『水を使って、砂の上に絵を描こう。』

こんな様子が見たい。

子どもたちは楽しそうに水を使いながら活動していました。授業の後半に、子どもたちの様子を見るために、校庭に出ました。

子どもたちは、マヨネーズや台所洗剤の空き容器に水を入れ、水を飛ばしたり、水を掛け合ったり、思い思いに楽しんでいました。積極的に水を掛け合い、びしょ濡れの子もいれば、水が掛からないように子どもたちの輪から少し離れたところにいる子もいました。

とても楽しそうなので、多少は濡れることを覚悟してその場にいました。近寄ってくる子どもたち。最初は『校長先生には水をかけてはいけない。』と思うのでしょうか。私がいてもニコッと笑って通り過ぎる子がほとんどでした。時間が経つにつれ、恐る恐る私に水をかける子が現れました。やがて、誰かが私の後ろから大量(?)の水をかけたことを皮切りに、たくさん子どもたちから水を掛けられる羽目になりました。もうびしょ濡れです。私は逃げ回ることにしかできません。容器の中の水がなくなり、水の補給のために子どもたちがいなくなりホッとしたのもつかの間、新手が押し寄せてきます。また、私は逃げ回ります。もうビショビショです。楽しかったのですが、ひどい目(?)に遭いました。

授業が終わった後、着ていたジャージやポロシャツを窓の外に干したのですが、衣服から滴り落ちる水が大きな水たまりを作っていました。1年生の容赦のなさを物語っていると思います。

とても楽しい時間でした。ただ子どもたちには「校長先生に水を掛けました。たくさん掛けました。楽しかったです。」という記憶しか残らなかったかもしれません。授業の目的が達成できたかどうか？微妙なところですが。